

生涯学習 がんばっています!

体操教室に参加し、子どもの成長を実感された親子。年越しに向け、そばうち挑戦された女性。

今月は生涯学習講座の「幼児体操教室」と「そば打ち道場」に参加された方の声を紹介します。

幼児体操教室に参加して

武井優季江さん 大和くん



生きがいタ
ウンを読んだ
ら、平均台や
マット運動、
跳び箱、ポー
ル遊び等、家
庭では体験さ
せてあげられ
ないけど、楽
しそうなもの
がたくさんあ

って参加しました。
うちの息子は、先生のお話が聞けなかつたり、プログラムに参加せずに自由行動になってしまおうなという不安がありました。

通い始めると、息子の反応は予想通りでしたが、絶対にイヤだった順番待ちが少しは我慢できるようになってきました。始まった五月の頃にはバラバラだったのに、今では先生の指示でみんながほぼ一列に座れるようになったのを見ると、成長したなと感じます。

教室が終わったら、モップでお掃除したり、道具をお片付けすることも学べて、家でも遊びと片づけをセットで考えられるようになったようです。

お弁当持参で行けば、お友達と飲食スペースで食べて、幼児遊戯室で遊び、図書室で本を借りられ、社会教育センターを満喫できました。

同じ年頃のお友達がたくさんできて、他の子の様子を見て自分も挑戦してみたり、親から離れて子供だけで会話したりと、学ぶことが多い教室だったと思います。

そば打ち道場に参加して

中村有美さん



私は初めてそば打ち道場に参加しました。最初は入江先生のお手本を見てから実践しました。そば粉と小麦粉をまぜ合

わせることから始めました。その次に卵と水を溶いたものを入れながらまとめたのですが、溶き水を入れる量が難しく、苦戦している方も多かったのですがなんとか上手くまとめることができました。

それからもみ込み、「へそ出し」という工程があったのですが、なかなか難しく、上手くできなくて大変でした。めん棒を使って生地を延ばしていきましたが、打ち粉が少なかつたことと延ばす時の力が強かつたので、失敗してしまい、入江先生に助けていただきました。

それから生地をたたみ、約二ミリの幅で切っていくのですが、これもまた難しく、だんだん太くなってしまいました。でも自分が食べるものだからとひらき直り、幅がまばらになってしまいました。

家を持って帰りゆがいてみました。麺の長さがずいぶん短かつたのですが、おいしくいただきました。レシピの紙が用意されていたので、これからは自分でそばを作ることができそうです。いろいろ思い出しながまた作ってみたいと思います。とても楽しい時間でした。ありがとうございました。

「どろんこ教室」に参加して

山本北斗くん

僕は、今年初めて「どろんこ教室」に参加しました。何を作るかわからないと考えて、僕の好きなフクロ口ウとシーサーに決めました。

最初に材料の土を二つに分ける作業をしました。土は重くて硬く、とても力が足りませんでした。それから使われない方の土は乾かないように水でぬらした布をまきつけました。

先に、シーサーに取りかかりました。シーサーは顔の表情を出したかったので、顔を一生懸命作ったら、大きくなりすぎて体とのバランスが悪くなつてしまいました。でも、何とか立たせることができたのでよかったです。

シーサーを作っているとき、とよやまチャンネルの人にインタビューをされて、とても緊張しました。シーサーに時間がかかって、フクロ口ウは細かく作れませんでした。なんとか仕上げる事ができたのでホツとしました。

その後、町の陶芸クラブのみなさんが作品を焼いてくれたので、家で色ぬりをしました。

シーサーは、たくさんの色を使って自由にぬりました。口の中は狭くてぬるのが難しかったです。フクロ口ウは羽のふわふわした雰囲気が出るようにと、特に目を慎重にぬりました。

文化展ではフクロ口ウが受賞してびっくりしたけどうれしかったです。



このページについての問合せ
生涯学習課生涯学習係

28・0396